

\*\*\*\*\*

開講科目名：国際経済論研究（A）（2単位）

開設年次：1年 2年

開設学部：会計学研究科博士前期課程会計学専攻

担当者：畑佐 伸英

\*\*\*\*\*

《授業の概要》

＜授業の目標＞

貿易・投資・金融を含む国際経済の基礎理論と、歴史、現状、課題について理解を深め、現在の国際社会で問題となっている国際経済に関する諸課題を学び、それらに対する解決策を提起できるような素養を身につけることを目標とする。

＜授業の概要＞

15回の講義のうち、最初の7回で貿易・投資に関する基礎を学び、後半の8回を利用して、国際収支や外国為替の動向を取り上げる。受講者には、国際経済事情の中で重要となっている課題をあらかじめ選考してもらい、各自で調査・学習のうえレポート作成をしてもらう。さらに、小テストを3回行う。小テストでは「自筆のノート」のみ参照可能とするので、毎回の授業でノートをしっかりとっておくことが必要となる。

＜授業の内容＞

- 第1回 はじめに
- 第2回 貿易の動向
- 第3回 貿易の理論
- 第4回 貿易の利益
- 第5回 貿易の制限
- 第6回 関税制度
- 第7回 海外直接投資
- 第8回 国際収支
- 第9回 外国為替
- 第10回 為替レートの決定
- 第11回 為替レートの変化
- 第12回 為替と経済の動き
- 第13回 国際通貨制度
- 第14回 固定相場制と変動相場制
- 第15回 国際経済の今後の動向

＜評価方法＞

参加姿勢（30%）、レポート（30%）、小テスト（40%）で評価する。</NAIYO

《テキスト》

特定のテキストは利用しないが、以下の参考書を読誦しておくことが期待される。

《参考書》

はじめて学ぶ国際経済（浦田秀次郎・小川英治・澤田康幸[著]、有斐閣アルマ）、世界経済読本（宮崎勇・丸茂明則・大来洋一[編]、東洋経済新報社）、ゼミナール国際経済入門（伊藤元重[著]、日本経済新聞出版社）、入門国際経済（中北徹[著]、ダイヤモンド社）など